



イラスト 後藤 章

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。



晴れわたる空に、鯉のぼりが悠然と泳ぐ早苗月となりました。
まばゆい青葉若葉にいのちが輝き、すがすがしい薫風が吹きぬけます。
晩春から初夏へ移行行くとき、皆様にはお健やかに過ごしてください。

<紙面から>

- 権利擁護センターリーフレットのご紹介・・・1ページ
- 事業報告会・北町デイ春の花探訪
- オープンガーデン・・・2ページ
- 声かけ講座・高齢デイお花見・・・3ページ
- お知らせ・リレーコラム・・・4ページ

権利擁護センター事業 リーフレットのご紹介



権利擁護センターの主な事業を紹介したリーフレットが完成しました。

「つながりサポート」や「地域福祉権利擁護事業」、「成年後見人受任事業」等、30 有余年に及ぶ伝統の有償在宅福祉サービスのノウハウを活用した各事業について、ご利用対象者やサービス内容の概要を記載しています。

来年 3 月 31 日を以て有償在宅福祉サービスは終了しますが、権利擁護センターは、変わらずその精神を受け継ぎ、全人的なご利用者支援を継続して、住み慣れた武蔵野でご利用者が安んじて日々を送れるように努めます。リーフレットは、福祉公社各施設や関係機関等にて配布中です。電話でのお取り寄せも可能ですので、ご覧の上、在宅生活の手立てとしてお役立て下さい。



公社各施設、市役所福祉窓口、市政センター、在宅介護支援センターなどで配布しております。

問合せ 権利擁護センター

☎ 23-1165



福祉公社事業報告会 開催

さる3月4日、平成27年度の事業報告会が開催されました。

福祉公社は組織上、4課7係で構成され、様々な福祉サービスを提供していますが、年に一度、各係の資質の向上を目指して、事業報告会を開催しています。

各係は多岐に亘る事業を実施していますが、その中から、実務に根差した課題を抽出し、①係の目標、②目標達成のための年度課題の設定、③課題解決の活動内容とスケジュール、④結果と今後の展望を、係員全員で協議し一年間の実践を発表します。

抽出された課題は、いずれも、市民福祉の向上に密接に関連する事項で、2025年問題にも通底するものでした。

講評者は早稲田大学人間科学部健康福祉学科の加瀬裕子教授です。



加瀬教授の講評

教授は福祉公社創設時からソーシャルワーカーとして勤務した先輩でもあり、公社事業や創業精神を熟知なさっていますので、的確なご指導を頂きました。

特に「Make it simple、クリアな目標設定」と「根拠となるデータの明示の重要性」を学びました。この他にも、「停滞した組織は死ぬ、時代のニーズに応じて変わって行くこと」、「日常の仕事をこなすのにやっとではダメ、仕事を通じて成長し、変わり続ける自分に気付くこと」、「公社にしかできない成果を社会に発信していくこと」、「情報共有、役割分担、組織内団結」等々、後輩職員への指導、激励に多くの気付きを得ました。

この報告会での成果を活かし、今後も、より一層の市民サービスの向上に努力いたします。

北町高齢者センター

❀ 春の花探訪 ❀

3月30日、ご利用者26名とボランティアさん7名、職員9名でお花見に出かけました。

お天気にも恵まれ、車中から道々の桜や水仙、ハナカイドウ等、咲き誇る春の花々を堪能しました。お花見コースは、センター → 五日市街道(三鷹方面) → 玉川上水 → 五日市街道(武蔵野大学) → 伏見通り → 電通研究所北側 → 市役所です。市役所では「桜ごはん」で一服。

我がまち武蔵野を展望し、皆で自宅の位置を確認して眺望を楽しみ、「昔は、畑だらけだったのよ」等、思い出話に花が咲きました。

美味しいケーキとお茶を頂きながら、春を楽しむ和気あいあいの女子会。帰路の車中では「また来年も…」と大満足のミニバスハイクでした。



眺望を楽しむ

北町高齢者センターオープンガーデン開催

4月27日、恒例のオープンガーデンには、大勢の方々がおいでくださいました。

手芸、粘土細工、クッキーなどのブースも設けられ、センターは、普段にも増して、いっそう華やかに賑わいました。園芸ボランティアの方々が、愛情注ぎ、丹精なさっている中庭、ご利用者は思い思いに、咲き誇る花々をお楽しみでした。ご利用者がご覧になって喜ばれる、馴染みのある明るい花を育てているそうです。

センターの伸びやかなくつろぎ空間はボランティアの皆様のおこころざしの賜物です。





認知症サポーターフォローアップ研修

認知症への対応が地域社会の身近な課題でもあり国民的課題ともなっています。

平成 26 年度の警視庁管内で認知症高齢者の行方不明届出の受理件数は 10,783 件もあります。そこで、市民力による温かいまなざしとやさしい声かけのあるまち作りが求められます。

3月5日、緑町パークタウン集会所と芝生広場で、UR自治会、大野田福祉の会、市内各所の在宅介護支援センター等のご協力を得て、フォローアップ研修を実施しました。

内容は認知症の方と接するときの心構えと声かけ実習です。

まず、認知症のある方を地域で支えていくために、認知症の基礎知識やコミュニケーションにおける配慮などについて学び、次に声かけの実践に入りました。皆様が真摯に取り組んでくださいました。認知症の方への対応の心得は、「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」の“三つの「ない」”が基本です。

ご参加者からは、「支援者としても、街で見かけた人に声をかけるのは戸惑う」、「この経験を日頃の生活に活かして見守りの目を広げたい」、「体験を重ねることが大切」、「研修とはいえ冷や汗をかいた」「実演がとても難しい」「地域で何ができるか考えたい」等々のご感想を頂きました。

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症の方やそのご家族の「応援者」です。認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人や家族を温かい目で見守ることがスタートです。

*ロバ隊長は認知症サポーターキャラバンのマスコットです。ロバのように急がず、しかし一步一步着実に進んでいき、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの先頭を歩いています。



基礎知識を座学で



在支職員が認知症役



高齢者総合センターデイサービス ♡お花見♡

八分咲きの 花のトンネル 首痛し



お花見に参加なさった Y さんの俳句です。

4月4日から6日、後にも先にもこの三日！と言うほどの満開の桜に迎えられ、総勢 56 名でお花見を堪能しました。緑町の団地をぬけ市役所前の桜トンネルを通過して野菜食堂七福へ。

コーヒーと紅茶で美味しいケーキを頂きました。

リンゴケーキ、おからケーキ、抹茶ケーキ、いちごケーキ、そして飲み込みが難しい方にはプリンと多彩なメニューから選んで頂き、「美味しい！」との声が響きました。T さんはご夫婦で参加して下さい、その妻を思う優しい介護に、心の桜の花も、満開になりました。



公社からのお知らせ

エンディングノート書き方講座

日時 5月18日(水)13時30分から15時
場所 福祉公社 1階会議室
問合せ 権利擁護センター
申込 ☎ 23-1165

老いじたく・成年後見相談会

日時 5月23日(月) 13時30分から16時30分
場所 高齢者総合センター 4階研修室
内容 個別のご相談に応じます
問合せ 権利擁護センター
申込 ☎ 23-1165

老いじたく講座

～ 尊厳ある老後生活の構築を目指す方に ～

日時 5月24日(火)13時30分から15時
場所 福祉公社 1階会議室
内容 老いじたくの基礎知識
問合せ 権利擁護センター
申込 ☎ 23-1165

家族介護教室 ～みどりの輪～

日時 5月27日(金)13時30分から15時
場所 高齢者総合センター 1階デイルーム
内容 成年後見について
問合せ 在宅介護支援センター・地域包括支援センター
申込 ☎ 51-1974

職員リレーコラム 第24回

《 釣り 》

権利擁護センター 高橋 大輔

昨年の5月、あるご利用者から「魚釣りはとても面白いよ」と教えていただきました。

それからスーパーの鮮魚売り場やレストランに行った際は「旬の魚は何か」「その魚はどんな特徴なのか」と魚のことが気になりだし、ついには釣りを始めました。幼少の頃、故郷の栃木県で小魚を網で掬って観察した経験はありますが、本格的な釣りは初めてでした。今では時間があれば、川や海に釣行しています。

実際に釣りをして分かったことがあります。その場所の魚が、普段何を食べているのか、水温や潮位、時間帯によってどのような動きをするのかなどを十分に理解しなければなりません。生態や環境への理解を深め、突き詰めたその先に釣果があるのだと思います。

日々の仕事をしていく上でも、“突き詰めていく姿勢”が求められます。公社のソーシャルワーカーは、ご利用者の意思を実現するために「今ご利用者が求めているものは何か、ご不安は何か、最善のサービスは何か」といったことを考え抜き、業務に励みます。今後も現状に満足することなく



“突き詰めて”いきたいと思えます。

➡ 次回は 権利擁護センター 桑谷 美耶子

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成28年6月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>